

ききょう通信 2016. 春号

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.162

学部卒業式・大学院修了式 2016年3月9日(水)



学部221名、大学院5名の皆さん、卒業、修了おめでとうございます

入学式 2016年4月2日(土)



学部276名、大学院4名の皆さん、入学おめでとうございます

[特集]神戸薬科大学の国際交流

日本学術振興会 二国間交流事業 インドネシアとの共同研究

ききょう便り 北河 修治 学長

私たちのキャリア活動

研究室探訪 薬学臨床教育センター

神薬ごよみ

〈MANABI白書・Event Report・Information〉

OKAMOTO MAP

「薬剤師」を鍛える

生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

ボストン薬学研修報告

表紙探訪:テラス



教学環境の充実を更に進めます

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学生活にも大分慣れてきたところだと思います。これから7月には前期定期試験を迎えます。薬学は化学を中心に、物理学や生物学などを基盤とし、「くすり」を介して医療につながる、広く奥の深い内容を含んだ学問です。しっかり講義内容を理解し、応用できる知識となるよう、普段からの努力を怠らないでください。

神戸薬科大学は、現在、教育研究の基盤となるキャンパス整備を進めています。10年前に開始された6年制薬学教育を行う施設として2008年に11号館を竣工しました。また、3号館の耐震化工事を行うとともに、教務課、学生就職課を集約した学生支援センターを設置しました。引き続き、2010年には4号館（講義棟）の耐震工事を施しています。更に2013年3月に80周年記念館として、食堂、購買部、ラウンジ、体育館などを配置した6号館の建設を行いました。2014年には、憩いの場となっているベンゼン池（通称）の散策路を整備し、現在は、8つの研究室を集約する新8号館の建設に着手しています。来年1月に竣工の予定です。今後とも、キャンパスがより快適なものとなるよう、1、2号館に残る実習室、事務局、図書館などの整備を進めていく計画です。一方、地域における大学の役割が求められる中で、東灘区住吉の校地を利用して地域連携住吉サテライトセンター（仮称）の建設を計画しています。今後の薬局に求められる健康サポート機能や高度薬学管理機能を大学としてバックアップし、学生の教育にも活かしたいと考えています。



北河 修治 学長

[特集]神戸薬科大学の国際交流

日本学術振興会 二国間交流事業

インドネシアとの共同研究

これまで成人まで生きながらえることのできなかった先天性心疾患患者が、外科的治療の進歩に加え、内科的薬物治療の充実により予後を改善し、続々と成人を迎えつつあります。その成人した患者や、成人期に初めて診断された患者を「成人先天性心疾患」患者と呼んでいます。

現在、わが国において成人先天性心疾患への診療ニーズが高まっており、より深い先天性心疾患への分子生物学的・遺伝的素因の理解が急務とされています。

そこで成人先天性心疾患で最も多い「心房中隔欠損症（ASD）」に焦点を絞り、その病態解明と新規バイオマーカーの探索・治療法最適化への知見集積を目的として日本（神戸薬科大学／神戸大学）とインドネシア（ガジャ・マダ大学）間での共同研究を開始しました。



神戸チームによるジョグジャカルタ訪問
2014年10月13日～15日



インドネシア側共同研究者チーム来日
2015年2月16日～22日



ジョグジャカルタの小学校にて
2015年8月4日～5日

Vol.162 contents

- | | |
|--|--|
| 1 ききょう便利 北河 修治 学長 | 14 新任のご挨拶 |
| 2 特集 インドネシアとの共同研究 | 15 OKAMOTO MAP |
| 5 私たちのキャリア活動 | 17 部活動レポート 洋弓部／ユースホステル部 |
| 7 研究室探訪 薬学臨床教育センター | 19 大学生生活ニュース 2015年度卒業生の進路状況／2015年度後期学外活動 |
| 9 神薬ごよみ
〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉 | 21 「薬剤師」を鍛える エクステンションセンター |
| | 22 ボストン薬学研修報告／表紙探訪 テラス |

未根治心房中隔欠損症における肺高血圧症発症メカニズムの解明と治療法最適化への応用

心房中隔欠損症 (ASD) とは

「心房中隔欠損症 (ASD)」（右図）とは、左心房と右心房の間の壁（心房中隔）に生まれつき孔（あな：欠損孔）が開いている先天性心疾患のことです。ASDは先天性心疾患の中でも発症する割合が「出生児1,500人に1人」と頻度の高い疾患ですが、わが国においては、大部分は乳幼児健診や学校での心臓検診などで発見されています。また、欠損孔があるといわずに必ずしも重篤な症状があるわけでもありません。軽度の場合は自覚症状がほとんど認められず、大人になってからも症状がないままに一生を終る場合もあります。小児期に診断された場合は心臓外科治療やカテーテル治療で欠損孔をふさぐ治療（修復術）を受けます。

小児期に治療を受けなかった患者の一部は「肺高血圧症 (PH)」を発症することがあります。ASDでPHを発症すると修復術を行うことが難しくなり、PHが進行した場合は修復術をすることがかえって病態を悪化させることがあります。

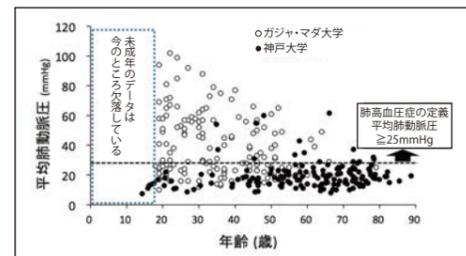
最近、PHに対する複数の肺血管拡張薬が新たに開発され、PHを来したASD患者の症状や生存率が大きく改善されました。これまでPHを合併したために修復術ができないと考えられた患者でも、これらの新薬を使用することによって修復術が可能になった症例も報告されつつあります。

このように新たな治療薬の出現によってPHを合併したASDに対する治療アプローチが大きく変化しました。同時に「どのような患者にこれらの薬剤が有効なのか?」「どのような患者であれば修復術が安全に実施できるのか?」など未解決の臨床的問題が新たに出現してきました。しかし、日本ではこのような患者の数は極めて少ないため研究がなかなか進行しないという問題があります。

ASD患者が肺高血圧症 (PH) を併発する割合が日本の4倍もあるインドネシア

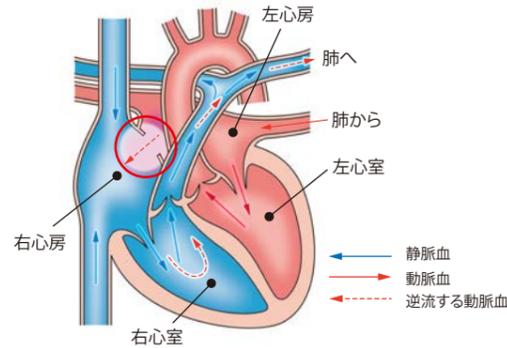
日本では未修復の成人のASD患者のうちPHを併発している患者は約20%と報告されています。ところが、インドネシアでは80%が併発していました（下図）。更にインドネシアのPHを併発したASDは日本と比較してはるかに重篤で、多くの患者が死亡していることもわかりました。その理由のひとつとして「医療体制」の違いが挙げられます。しかし、私たちはインドネシア人のPHを併発するASDは、日本人とは異なる機序で発症しているのではないかと仮説を立てています。そのひとつの可能性として未知の遺伝子異常を想定しています。

■ 両国間のASD患者における年齢別血行動態比較



インドネシア（ガジャ・マダ大学）で治療を受けているASD患者の肺高血圧症併発率は本邦（神戸大学医学部附属病院）に比べ明らかに高頻度である。今回の調査では欠落している未成年のデータをインドネシアで集積するとともに、本邦の学校健診データと比較する

アメリカやヨーロッパ各国のASD患者におけるPHの発症割合は20%前後。アジアでもベトナムやタイは日本よりも高いがインドネシアほどではない。当初、インドネシアがPHを心臓超音波検査（心エコー）のみで診断していたことから「80%」は過大評価であり、正確な数値ではないと思われていたが、私たちが日本と同様の検査（心臓カテーテル+心エコー）を行ったところ、正しいことがわかった。



心房中隔欠損症 (ASD)

心臓の右心房と左心房の間にある心房中隔に欠損孔がある先天性心疾患。

肺で酸素を取り込んだ動脈血の一部が欠損孔を通して左心房から右心房へ流れ込み、肺へ逆流する。本来よりも多い血液が肺に流れこむため、肺高血圧症を起こすことがある。

肺高血圧症 (PH)

心臓から肺に血液を送る肺動脈の血圧が高くなり、心臓の機能が低下する原因不明の疾患。軽度では自覚症状はほとんどなく、症状が出現したときには、すでに高度の肺高血圧が認められることが多い。治療薬のなかった時代には5年生存率が約30%と極めて予後の悪い疾患であったが、薬物治療が充実したことにより、患者の予後は大きく改善しつつある。しかしながら重症例は現在も治療に難渋することがある。

インドネシアで合併症発症の割合が高い理由

- 日本は国や自治体、学校が実施する子どもの心臓検診が多く、疾患が早期に見つかるが、インドネシアは検診制度がないため、未治療のケースが多い
- インドネシアでは経済的な理由により、症状が悪化するまで病院に行かない（悪化してから治療は難しい）
- PHに対する新薬が一部しか認可されていない

まだ見つからない遺伝子の影響?

疫学調査・疫学研究へ

日本の優れたテクノロジーとインドネシアの豊富な症例で行う協働プロジェクト

PHを発症しているASD患者は、条件を満たしていれば、年齢にかかわらず手術を受けることができます。しかしそのガイドラインは国によって異なっているのが現状です。それは「ASD患者の内、どのような患者が肺高血圧症に至りやすいのか」「どのような患者が内科的治療に反応しやすいのか」といった疑問が解明されていないからです。

同時にアジア太平洋諸国は医療体制の整備により未治療のPHを発症しているASD患者をいかに治療するかが大きな問題になっています。

そこで、その病態解明と新規バイオマーカー^{※1}の探索・治療法最適化への知見集積を目的として、日本とインドネシア間で共同研究をすることになりました。本研究によりインドネシアの豊富な未修復ASD症例を日本の優れた分子生物学・遺伝学の技術を用いて解析することにより、今後の先天性心疾患診療に有益な情報を提供できることが期待されます。

※1 バイオマーカー … 血液や尿あるいは身体の組織の中に含まれる物質で、身体の状態を知る上で定量的な指標（マーカー）となるもの。物質としては遺伝子、たんぱく質、ペプチド、脂肪、代謝産物など

研究の進む先にあるものとは

インドネシアは約2億5,000万人という世界第4位の人口に加えて、国民の平均年齢は29歳と若く、2015年に発足したASEAN経済共同体^{※2}に加盟し、発展が期待されている国です。本取組みを通して、これまでインドネシアで行われていなかった心臓検診制度の構築や、その拠点作りを行うことにより、国の発展に貢献したいと考えています。また、互いの強みを生かした研究成果を上げるとともに、二国間で取組んだからこそ得られる、「新しいもの」も見つけたい。その布石として積極的に留学生を受け入れるなどの人的資源の構築にも力を入れています。

※2 ASEAN 経済共同体 … 東南アジア諸国連合加盟10か国で構成する経済共同体

学生に期待すること

インドネシア人留学生は文部科学省やインドネシア政府の奨学金を得て日本で学ぶ医師であり、極めて優秀ないわゆるエリート層に属する人たちです。ゼミでは学部学生の指導をしながら研究活動を行っています。ゼミの公用語である英語でのコミュニケーションに当初はとまどう学生もいますが、すぐに慣れて英語でレポートを書いたり英語で発表したりしています。

学生には、積極的に本取組みに参加して遺伝子解析に携わってもらいたいと考えています。また、希望者にはインドネシア留学の機会も設けたいと考えています。留学によってグローバルな考え方や研究マインドを養い、医療人として活躍できる人になってほしいと願っています。

■ 疫学調査・疫学研究



二国間の研究メンバーと定期的にテレビ会議を実施し、研究の議論や活動報告を行っている



私たちのキャリア活動

自らの付加価値を高めるために 学生就職部長 北川 裕之

幅広い分野を学ぶ薬学生が卒業後に活躍できる進路には、魅力ある仕事と多くの可能性があります。多様な職種を学生に知ってもらいベストな未来をつかみ取るために、本学ではさまざまなキャリアを学ぶ場を設けています。しかし、これは就職活動に向けた行動のきっかけを与えているに過ぎません。大切なことは、学生自身が「やるべきこと」を見つけて、「自ら進んで取り組むこと」です。

今回は、これらを実践し自分らしい職種を選び社会人となった卒業生、将来を見据えた上で目的意識を持って行動している在学生の一例を紹介します。

就職活動の選考で問われること、それは「人としての本質」です。どのような出来事に出会い、何を経験し心動かされ、どう考え、どう行動してきたのか。そして、どのように生きようとしているのか。

積極的な取り組みは、自らの付加価値を高めるとともに、揺るぎない強みにもなることを、彼らの姿から知っていただきたいと思います。



北川 裕之 教授

My Action!

キャリアデザイン講座

講座で進路の幅が広がりました

5年 栗崎 伊万里さん



4年次前期の選択科目のキャリアデザイン講座を受講していなければ、自分の将来の可能性を狭めていたかもしれない。そんな危機感を覚えたほど、この講座は大きな経験になりました。講座では、毎回、先生がキャリアについて丁寧に解説して下さいますし、多職種のゲストの経験談をうかがうことができたことで、薬剤師の進路には、病院と薬局で働くこと以外にも幅広い選択肢があることを知ることができました。

特に印象的だったのは、調剤薬局・ドラッグストアの大手企業で働く女性薬剤師の方のお話です。薬局薬剤師の業務から、薬局店の戦略や今後のビジョンに至るまで濃密な内容に、とても引き込まれました。その方は、一店舗の薬局薬剤師からキャリアを積み重ね、今では東京本社で役職に就いておられます。そのキャリアアップの道程をはじめ、講義での凛とした態度や話し方、仕事への熱意が伝わり、強いあこがれを抱きました。

受講後は、進路に対する意識が変わりました。周囲の友人たちとは、結婚・出産などの自分らしいライフスタイルや働き方などを話す機会が増えています。また、目標達成のために必要な要素やステップは何かと具体的に考えるようになりました。

以前はMR職を志望していましたが、講座で魅力を知った治験代行を中心とした医薬品開発業務を行うCROにも興味を引かれていきます。仕事や立場は違っても、さまざまな人とかわりながら新薬の開発を手伝う、世界中の人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。

My Action!

公募制インターンシップ

幅広い現場を体験し理想の道を探りたい

6年 松尾 杏奈さん



薬剤師として、自分に合った働き方を見つけない。そのために海外でのインターンシップに挑戦しました。さまざまな仕事の現場を見て進路選択の参考にしつつ、英語ばかりの環境で好きな英語力も高めたいという思いがありました。

インターンシップ先は自分で探したカナダ赤十字社です。市民に車椅子や杖などの介護用品をレンタルしており、私は介護用品の貸し出しを行う受付業務のほか、電話での問い合わせ対応を担当しました。貸し出した方に「おかげで生活が楽になるよ」と感謝されるなど、人の手助けができる仕事には大きなやりがいがありました。ただ、異国では、生活も仕事でも毎日がとまどいとトライの連続です。日常会話は問題ないのですが、英語での複雑な話は難しいため、電話対応の際に「話がわからない」と相手に切られたこともあります。そのときは悔しい思いでいっぱいでした。でも、そのおかげで、もっとさまざまなことを学ぼうと、学習意欲やチャレンジ精神が強くなりました。また、カナダの充実した介護政策など、日本や薬学とは違う視点から医療や介護の現場を知ることができて、視野が広がりました。後輩の皆さんにも、幅広い経験をするだけでもの見方が広がり、メンタル面も鍛えられるので、やりたいと思ったらすぐにでもチャレンジしてほしいと思います。

インターンシップ、そして長期実務実習を経験した今、卒業後は患者さんを笑顔にできる病院薬剤師になりたいと考えています。

My Action!

内定者就活体験報告会

実際に見る・聞くは理想の職を知る一歩

西垣 彰人さん 2016年3月卒業
MR職：プリストル・マイヤーズ株式会社



人との対話が苦手な自分は、MRには向いていない。将来の道を思い描くたびに、そう考えていました。意識が変わったのは5年次の病院での実務実習です。薬剤師の先生から「もっと積極的に発言しなさい」と指導され、自分を変えていこうと思うようになりました。その実習先で、あるMRの方と話す機会に恵まれました。個の力を生かして活躍する姿は格好良く、薬と臨床現場をつなぐこの仕事こそ自分の理想とする進路だとMRを目指す決心をしました。

実習後すぐに大学で開催された内定者就活体験報告会に参加しました。就職活動のスタートが他の人よりも遅かったため不安でしたが、先輩から就活の体験談を聞いたことで、やるべきことがわかり、モチベーションも高まりました。

5年次の秋には、学内にあるMRを目指す学生の勉強会「MR同好会」に参加して、就活対策に取組みました。また、MRを志してからは海外で働きたいという夢も見つかり、趣味で始めたボディビルで知り合った外国人たちと会話を重ねて、英語の向上に励みました。更に、周囲の人々と積極的に交流してコミュニケーション能力を高める努力も続けていきました。

当初の相談相手は同好会の仲間や友人たち。しかし、初めて受けた企業からは内定をいただけませんでした。そのことを両親に報告すると、「もっと早く相談してほしかった」と言われました。それからは就職活動の話をするようになり、両親も製薬会社の情報を教えてくれたり、アドバイスをしてくれたりしました。

ときには就職に対する意見の相違もありましたが、最後は私の考えを尊重してくれましたし、何よりも私を支えようとしてくれた両親の思いに感謝しています。おかげで、自分が理想とする外資系の製薬会社から内定をいただくことができました。振り返ると、早く両親に相談していればよかったと思います。

My Action!

学外交流

学生オーケストラで自分らしい道を発見

植田 梨沙さん 2016年3月卒業
薬剤師レジデント：神戸大学・神戸薬科大学薬剤師レジデント
(神戸大学医学部附属病院薬剤部で研修)



私の進路を開いてくれたきっかけは、一本のチェロと母でした。大学に入学してまもなく、関西医科学学生交響楽団という学生オーケストラの存在を知り、母に相談しました。中学のころに買ってもらったまま弾くことのなかったチェロをいつか演奏してみたいという思いがあったからです。すると、母は「やってみなさい」と、半ば強引に参加の申し込みをしてしまったんです。

オーケストラでは、人見知りなチェロ初心者の私を、医師や看護師などをを目指す学生や医療系大学の先生方、医療に携わる社会人の方々が温かく受け入れてくれました。また、普段の交流を通じて、音楽的にも医療人としても参考になる話をたくさんうかがうことができました。初めての演奏会が終わると、楽団で知り合った方が別の社会人オーケストラを紹介してくれました。そのころには、人々と知り合い、学ぶことが楽しくなり、いろんな場に顔を出していました。一つのオーケストラで人脈が広がり、演奏会が終わると他のオーケストラを紹介していただくということが続き、最終的には全日本医科学学生交響楽団で活動しました。何事も積極的に活動することで、自分が成長できる場になると実感し、医療系学生による勉強会や病院でのボランティアにも参加しました。

彼らとの交流や病院の実務実習を経験する中で、将来はチーム医療において薬学という自分の強みを発揮したいという思いが強くなりました。でも、そのためには、まだ力不足だという実感もあります。そこで、学生就職課や楽団の方々に相談し、熟考した末、卒業後は、レジデントとして臨床薬剤師に必要な知識やスキルを修得しようと決めました。

音楽を通じて知り合った方々は全国にいるため、どこに行っても泊まる場所を心配なくいいことが自慢です。人見知りを心配した母の荒療治が効いて、今があるのだと思っています。

研究室探訪



本学では18の研究室に学生が配属され、教員とともに研究に取り組んでいます。研究内容はもちろん、研究室の雰囲気や学生たちが生き生きと学ぶ様子を楽しくお伝えします。

医薬品の適正使用を目的とする研究を推進する6年制薬学教育の拠点

薬学臨床教育センター



〔スタッフ〕 濱口常男 教授 杉山正敏 教授 沼田千賀子 教授 田内義彦 教授 韓秀妃 臨床特命教授 渡雅克 臨床特命教授
奥川斉 臨床特命教授 河本由紀子 臨床特命教授 波多江崇 准教授 辰見明俊 講師 猪野彩 講師 河内正二 講師
竹下治範 講師 横山郁子 助手 藤本真紀子 主査

〔学 生〕 5年:21名 6年:18名

研究テーマは？

医薬品の適正使用を目的とする研究を大きく2つの面から進めています。ひとつは医療機関や薬局等との共同研究を行い、医薬品の重篤な副作用回避や安全使用に向けた要因探索、もうひとつは患者さん側から見た医薬品の使用性に関する研究を行っています。

現在取り組んでいる研究内容は？

- ①米国FDA有害事象自発報告データベースを利用した、医薬品の重大な副作用の早期発見の要因探索
- ②小児の抗菌薬投与における下痢の発現に関する要因解析
- ③保険薬局での持続可能なブラウンバッグ運動*の構築
- ④医師との連携による骨粗しょう症のスクリーニングシステムの構築
- ⑤ステロイド軟膏チューブ剤の塗布量の尺度に関する調査

所属学生の様子を教えてください。

薬学臨床教育センターを希望するゼミ生は、将来医療系(病院、薬局)に就職を希望する学生が集まっているため、医療機関や薬局等で臨床卒業研究をすることに積極的な学生が多いです。薬剤師や医師あるいは患者さんの中で臨床卒業研究を行うことは、学生にとってかけがえのない経験です。大学に戻ってきたときには一回り大きく成長しており、その姿を見ていると非常に頼もしく感じます。

研究活動を通してどのような学生を養成したいですか？

臨床現場において学生の臨床卒業研究を推進することにより、臨床現場で求められる課題や問題の発見能力及び問題解決能力を高めた学生の輩出を図っています。

*ブラウンバッグ運動…薬局薬剤師が中心となり、患者さんが日常的に服用している処方薬、OTC薬などの副作用や相互作用などの問題をチェックするプログラム

地域社会との連携事業を推進しています

兵庫県子育て支援事業「ママサポート会」

2012年から厚生労働省の子育て支援事業「ママサポート会」でくすりの専門知識を生かした子育て支援を実施しています。兵庫県薬剤師会内の加古川市・稲美町・播磨町・高砂市の2市2町をカバーする播磨薬剤師会、及び2市2町の行政(子育て支援センター)とともに、薬学臨床教育センターの教員並びにゼミ生が公立保育所などに出席、年間5回くすりの正しい使い方を説明しています。



東灘区との地域連携

(夏休み子どもいろいろ体験スクール/小学生対象)

2006年に神戸市東灘区と「地域連携協力に関する協定書」を締結し、以来さまざまな活動を行っています。その一環として「夏休み子どもいろいろ体験スクール」を開講しています。「薬剤師のお仕事を体験してみよう!」をテーマに、小学生(3~6年)が白衣を着用し、薬剤師業務である調剤やお薬交付、服薬説明を体験するもので、毎年好評を博しています。



濱口 常男 教授



充実した学会発表・イベント

日本薬学会、日本医療薬学会、日本病院薬剤師会近畿学術大会などの学会で学会発表を行っています。また、毎年4月~5月に実施する日帰りのゼミ旅行のほか、親睦会、新歓コンパ、12月の6年生追い出しコンパなど、にぎやかなイベントも盛りだくさんです

神薬ごよみ

キャンパスカレンダー(学年暦)と併せて、学内の今、そして、これからの取組みを3つのコンテンツでお届けします。

MANABI白書

半期における各学年の学習や
実習報告をお伝えします。

Event Report

半期の主な学内イベントを
ご報告します。

Information

今後の行事を中心に、
学内外のニュースをお伝えします。

MANABI白書

2015年度 後期の学習報告

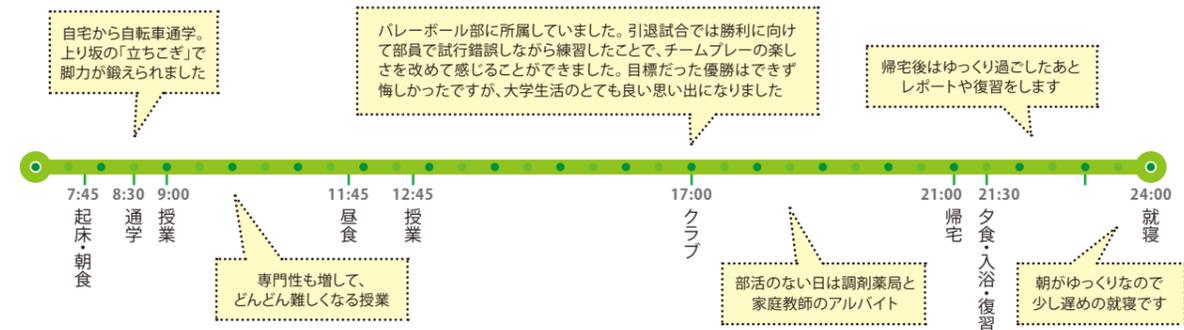
3年次

勉強のしがいがある、薬学の専門領域に触れる授業

3年次に特に興味を持って学んだ授業は、さまざまな疾病の症状や原因、治療に用いる代表的な医薬品に関する基本的知識を学ぶ「薬物治療学I(加藤 郁夫 教授)」です。復習から新しい内容まで、先生がわかりやすいように丁寧に授業を進めてくださったので、理解しにくいことも頭に入ってきました。覚える範囲が広く大変でしたが、薬学の中でも重要な学問のひとつなので、とても勉強のしがいがありました。

新3年次生へ 授業に出席してしっかり聞き、さらに先生のお話をメモしておく、復習するときに授業内容を思い出しやすくなります。3年次からは覚える量が格段に増えるため、短期間の勉強では限界があり、定着も悪い。私は、3年次前期の定期試験に向けては2年次より勉強量を増やしましたが、それでも足りないと感じ、日々の授業の復習量を増やして、コンスタントに勉強する習慣をつけました。毎日の復習は本当に大切です。

〈岩本さんの3年次のある一日〉



4年 岩本 理紗子さん

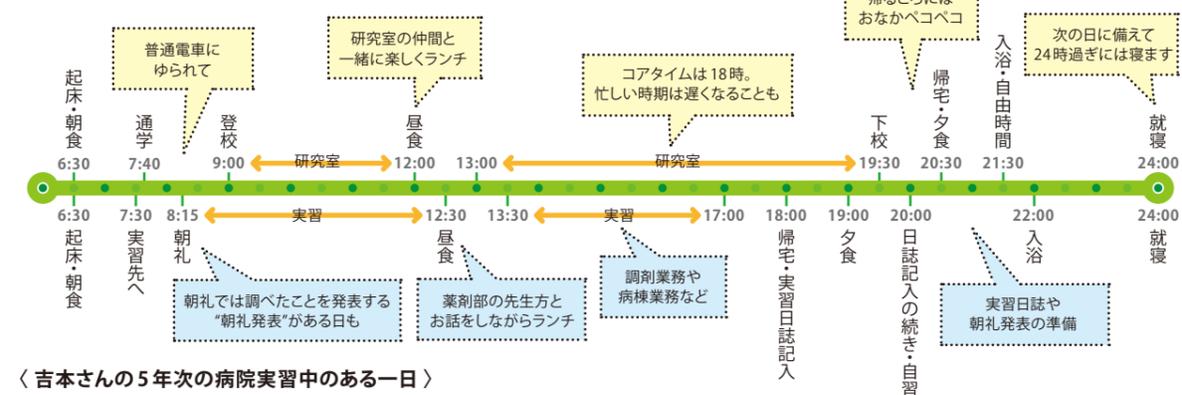
5年次

「患者さんのために学びたい」と強く思った病院実習

薬局実習と病院実習を2か月半ずつ経験しました。病院実習では、抗がん剤治療で入院している患者さんに服薬指導をした際、「少しでも長く生きたいから頑張る。あなたも頑張ってくださいな薬剤師になってね」と言われました。そのとき、患者さんの支えとなり、安心して治療を受けていただけるように「患者さんのために学びたい」と強く思いました。とまどいや知識の少なさから悔しい思いもしましたが、毎日が発見の連続という充実した実習期間を過ごすことができました。

新5年次生へ この1年間はたくさんの新しいことが待っています。これまで出会うことなかった人たちともかわることになります。この1年間で感じるさまざまな思いを大切に、全力で楽しんでください。

〈吉本さんの5年次のある一日〉



〈吉本さんの5年次の病院実習中のある一日〉



6年 吉本 佳那子さん

1年次

膨大な量を暗記した1年間

大学の授業は科目数も多くテスト範囲も広く、高校の授業より当然難しい。有機化学のテスト範囲は教科書400ページを超え、生化学などテスト範囲が広い科目が10科目ぐらいありました。あまりにも膨大な量を暗記した1年間でした。わからないことは図書館やインターネットで調べたり先生に質問したりするなど自発的に学習するようになりました。



2年 日高 諒さん

2年次になると勉強がどんどん忙しくなるので今まで以上に頑張りたい。海外に行くなど、今まで経験したことがないことにも積極的にチャレンジしたいです。

2年次

先の授業を見越して勉強に取り組む

「薬理学I(八巻 耕也 講師)」は特に興味をもって学んだ授業です。先輩から、この先にある薬理学II・IIIは、Iができていることを前提に授業が進んでいく上にテストも難しいので、特に頑張るようにアドバイスをいただいていた。どの教科よりも先にテスト勉強を始めましたが難しかったです。3年次は実習が多くなるので、後回しにしがちだったレポートをためないようにしようと思います。



3年 前寄 友香里さん

新2年次生へ、後期はほとんどの人が成人式とテストの日程が重なります。後悔しないよう、早めにテストの準備をして、成人式も同窓会も出席することをおすすめします。

4年次

コミュニケーション能力の成長を実感

1年間で成長したと思うのはコミュニケーション能力です。実務実習事前教育で一般の方に服薬指導の練習をしたとき、緊張もあり初めは暗記した内容を話すだけになってしまい、患者さんの気持ちをうまく聞き取ることができませんでした。友人と繰り返し練習をして患者さんの気持ちに添った対応や表情を心がけたことで、患者役の方から「安心してとても話しやすかった」との言葉をいただくことができました。



5年 水口 麻土果さん

楽しかったのは部活の仲間と旅行したこと。勉強や実習など多忙な毎日ですが、メリハリをつければ充実した学生生活を送れると思います。

Event Report

2015～2016 主なキャンパスカレンダー

2015

12月	13日	(4年)薬学共用試験OSCE本試験
	14日	(5年)模擬面接・模擬グループディスカッション
	14・15日	(5年)第4・5・6回就職ガイダンス
	19日	(5年)病院実習・薬局実習(II/III期報告会)

2016

1月	7日	(5年)病院実習・薬局実習開始(III・IV期)後期定期試験(～1/20)
	16・17日	大学入試センター試験
	21・22日	(4年)薬学共用試験CBT本試験
2月	4日	一般入学試験・前期
	11日	一般入学試験・中期
	22日	後期追再試験(～3/1)
	27・28日	第101回薬剤師国家試験

3月

3月	1日	(3・4年)海外薬学研修[ボストン](～3/13) ↑(P.22)
	9日	学部卒業式・大学院修了式 【裏表紙】
	10日	一般入学試験・後期
	24・25日	学内就職フェア
	28日	第101回薬剤師国家試験合格発表

4月

4月	2日	入学式 【裏表紙】
	5日	(5年)インターンシップガイダンス
	6日	(4年)インターンシップガイダンス 前期開講日
	7日	(5年)第1回就職ガイダンス
	8日	(6年)病院ガイダンス
	8日	(6年)公務員ガイダンス
	11日	(5年)病院実習・薬局実習開始(i期)
	14日	(6年)第7回就職ガイダンス
	15日	(6年)模擬面接・模擬グループディスカッション
	16日	第17回公開市民講座
5月	21・22日	(6年)模擬面接
	23日	(6年)病院実習・薬局実習報告会(III・III・IV期)
	27日	(4・5年)海外薬学研修報告会
	27日	第84回創立記念日

5月	9日	(5年)病院実習・薬局実習開始(I期)
	14日	桔梗育友会春季役員会
	28日	(6年)卒業研究発表会(薬演コース)
	22・28・29日	第42回卒業後研修講座

11月 NOVEMBER

ちやまちキャンサーフォーラム2015 出展



本学の展示ブース

2015年11月14日(土)、大阪の毎日放送(MBS)本社で開催された「ちやまちキャンサーフォーラム2015」の展示ブースに参加しました。このフォーラムはMBSが取り組んでいるがん検診啓発キャンペーンの一環で、がんを正しく知り学ぶためのイベントです。学内で定期的に開催している「がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ」を紹介したことから、多くの方のメディカル・カフェ参加につながりました。

第8回がんプロ講演会

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

2015年11月28日(土)、第8回がんプロ講演会を本学にて開催いたしました。

今や女性の12人に1人が「乳がん」にかかる時代。女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが乳房の予防的切除を行ったことで遺伝性乳がんも話題になりました。乳がんの好発年齢(特定の病気にかかりやすい年齢)は40歳代であり、家庭や社会で活躍している時期でもあるため、QOL(生活の質)の向上は治療を行う上で重要なポイントになります。そこで今回は、「そこが知りたい乳がん治療とQOL」をメインテーマに、立命館大学生命科学部生命医科学科 教授 下妻晃二郎先生と神鋼記念病院乳腺科科長兼乳腺センター長 山神和彦先生にご講話いただきました。また、株式会社アインファーマシーズより乳がんモデルの模型を貸していただき、触診体験をすることができました。



乳がんモデルの模型を使用した触診体験



がんプロ講演会の様子

薬学共用試験 OSCE 本試験 CBT 本試験

2015年度薬学共用試験[OSCE:2015年12月13日(日)・CBT:2016年1月21日(木)・22日(金)]を実施、4年次生が受験しました。全員が合格を果たし、4月11日(月)より、第1陣(i期)が病院実習・薬局実習をスタートさせました。試験詳細は本学ホームページに公開しています。

4月 APRIL

第17回公開市民講座

地域連携

キャンパスの木々の緑がようやく力を持ち始めた4月16日(土)本学において公開市民講座を開催しました。約250人にご参加をいただき盛況のうちに終了しました。

【午前の部】於:80周年記念館・薬用植物園

おくすり・健康相談(東灘区薬剤師会) / AED講習(東灘消防署) / 健康機器を使った健康測定(ココカラファイン) / アロマハンドマッサージ(アイグレー・セラピストアカデミー・本学IPW同好会) / 薬用植物園見学とハーブティーサービス(本学生薬部) ()は協賛先、協力団体

【午後の部】健康に関する講演 於:ききょう記念ホール

講演テーマ:「超高齢社会における糖尿病ーがんと認知症をふせぐためにー」 力武 良行 教授(本学 医療薬学研究室)

講演テーマ:「薬局で健康チェックをしてみませんか?」 波多江 崇 准教授(本学 薬学臨床教育センター)



IPW同好会の学生がハンドマッサージに挑戦



生薬部の学生がハーブティーコーナーと薬用植物園見学の受付を担当

ラジオNIKKEIで学生企画「がん哲学塾」を紹介

2016年4月3日(日)にラジオNIKKEI「樋野興夫日曜患者学校」*で、本学学生が企画した「がん哲学塾」が紹介されました。「がん哲学塾」とは、「メディカル・カフェ」(P.11)1月参照)に参加した学生が、がん患者さんの前向きに生きる姿や、人生の目的や役割を真剣に模索している姿に心を動かされ、本気で人生について語り「人間性を向上させる」場として企画しました。「がん哲学塾」は5月5日(木)に開校され、今後の展開が期待されています。



収録スタジオにて

*「樋野興夫 日曜患者学校」毎月第1、2、3週の日曜日(21:00～21:30)放送

1月 JANUARY

がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

「がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ」は、「医療の隙間を埋める」ために薬学臨床教育センターが隔月で開催しています。メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者、学生、一般の方などさまざまな方が集まり、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。関心のある方はお気軽にご参加ください。

● PICK UP! 第5回がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ

2016年1月30日(土)、「こころの栄養・いのちの栄養～ほっこりタイム・スープとともに」をテーマに滋賀医科大学家庭医療学講座 非常勤講師 田村 祐樹 先生にご講話いただきました。講演後は、朝9時から玉ねぎと昆布だしで4時間コトコト煮込んで作った「いのちのスープ」を参加者全員でいただき、心も体も温まる時間になりました。



「いのちのスープ」は田村先生が料理研究家 辰巳 芳子 氏より学び、緩和ケア病棟で提供しています

● 2015年後期に実施した講演

第4回 2015年9月10日(木)

講演テーマ:「植物のちから」沖 和行 課長(本学 薬用植物園)

第6回 2016年3月5日(土)

講演テーマ:「漢方の不思議であたりまえのこと」

奥川 斉 臨床特命教授(本学 薬学臨床教育センター)

3月 MARCH

新8号館(研究棟)地鎮祭

2016年3月7日(月)、2017年度竣工予定の新校舎8号館着工を前にした地鎮祭が行われました。式には宮武 健次郎 理事長、北河 修治 学長をはじめとする大学関係者、設計・施工関係者らが列席し、工事の安全を祈願しました。



甲南女子大学図書館との相互協力に関する申合せ

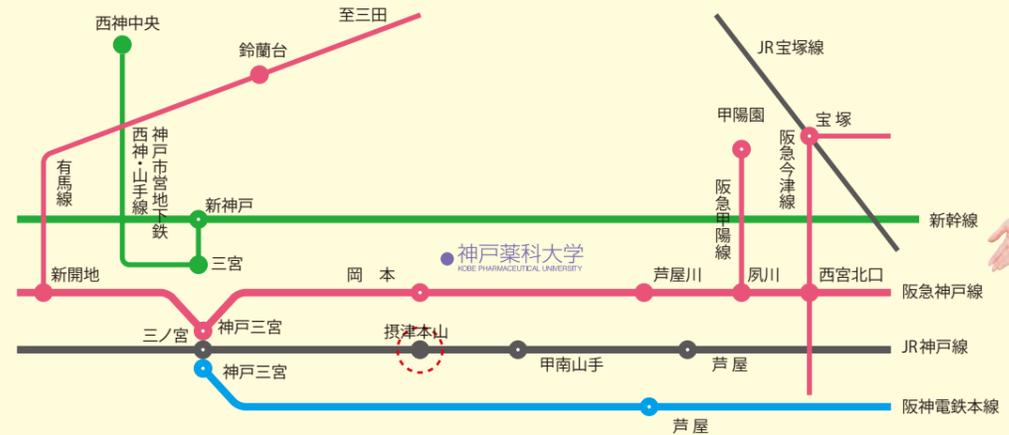
2016年3月16日(水)に、甲南女子大学図書館と本学図書館との間で「相互協力に関する申合せ」を締結しました。2016年4月1日(金)から、学生証・教職員証の提示によって甲南女子大学図書館所蔵資料の閲覧・複写ができます(貸出不可)。対象は学部学生、大学院学生、常勤教職員です。



本学図書館の畑公也前館長(前列左)と甲南女子大学図書館の前川幸子館長(前列右)

OKAMOTO MAP

昨年、本学の最寄り駅のひとつである摂津本山駅の新駅舎と駅前広場のリニューアルが完成しました。改札外エスカレーターや駅ナカ店舗もオープンして、ますます利用しやすくなった摂津本山駅周辺を、通学で利用している学生が紹介します。



エントランスがきれい

夜も明るくて安心です

利用しやすくなりました
JR 摂津本山駅



2年 長田 彩夏さん

2年 井高 佐知子さん



井高さん「通学にはJRを利用しています。新しくなった駅しか知らないのですが、駅の中にはコンビニや薬局が入っているのでよく利用しています。クリスマス時期には大きなクリスマスツリーが飾ってあったのがきれいでした」

神薬大に入学して

大学生活・勉強について

長田さん 実習はグループで実験を行うので、困ったことがあっても班の仲間と協力して問題解決できるところがいいと思います。スライドを中心に行われる授業もわかりやすいです。

井高さん 板書がほとんどない授業が多く、最初はついていくのが大変でしたが、わからないところを聞きに行くと、先生方は丁寧に答えてくださるので、質問しやすい環境を実感しています。

将来の夢・なりたい私

長田さん まだ明確には決まっていますが、薬剤師の資格を生かした仕事に就きたいと思っています。今は国家試験に合格できるように6年間しっかり勉強を頑張りたいと思います。

井高さん 資格を生かした仕事に就きたいと考えています。学年が上がり専門的な授業が増えてくるその過程で、興味のある分野を見つけたい。これからのに向けて「やる気」を持って頑張ります。

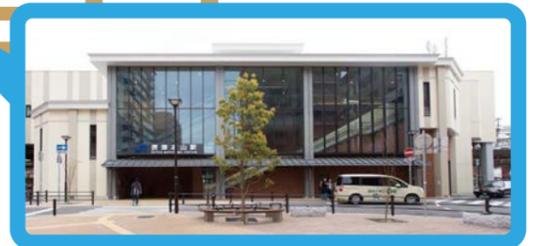
JR 摂津本山駅工事完成記念!

周辺散策マップ

春休みに父を
ケーキ屋さんに案内しました



摂津本山駅北口



摂津本山駅南口

この1年以内にオープンした摂津本山駅周辺のお店を紹介します。
すでに利用している学生がいるかも!

★ Masterpiece Organic Cafe&Bar

2015年6月OPEN
オーガニックな素材にこだわった
隠れ家レストラン。



♥ 松竹堂 摂津本店

2015年11月OPEN
フルーツ餅で有名な
大阪の和菓子屋さん。



充実した学生生活を送り、自らが主体的に考え行動するクラブ活動は、学年を超え多くの学生との交流を深め、豊かな人間性を身につけることができる場です。「チーム医療」の一員としての自覚を養い、コミュニケーション力を磨くことができる有意義な場でもあります。ほとんどの学生が、勉学に励みながら、クラブ活動にも積極的に参加しています。

洋弓部

「団体戦で一部昇格!!」を目標に日々練習に取り組んでいます



女子団体戦 力を出し切る



長野で夏合宿 全員がいろいろと成長できた



男子団体戦 悔いの残らないように



春合宿 団体戦で勝つための技術向上

新人戦で4位入賞できました

活動内容

顧問 中川 公恵 准教授 部員 13名

活動日:毎週火曜日・土曜日、夏休みなどの長期休暇は週5日
試験前の1か月は試験勉強に集中するためお休み。



部長
3年 松井 治幸さん

マイナーなスポーツですが、大学からでも始められるフレッシュな競技です。競技を通じて社会でも通用する礼儀が身につく上、先輩から勉強や大学生活についても学ぶことができます。何よりも真剣に取り組むことの楽しさを実感できます。さまざまな大学との交流が盛んなため、そこから生まれる友人関係は、ほかでは得ることができない貴重な財産。ただいま部員大募集中!! 一緒に団体戦で勝利をもぎ取ろう!! 個性があふれるメンバーがあなたを待っています。

ひとこと

関西学生アーチェリー連盟

関西の36の大学が加盟。薬学部を有する大学も加盟しているが単科大学は本学のみ。強豪大学がそろって、今年度の目標は「団体戦で一部昇格!!」

戦績・活動報告

第53回関西学生アーチェリー新人戦 女子4位入賞
4月に団体戦、10月には関西の1年次生が出場する新人戦(2015年度入賞)があります。春と秋は他大学と練習試合をして、互いに高め合っています。

ユースホステル部

キャンプ・旅行・他大学との交流! 大学生の間にしかできないことを楽しもう!



活動風景



部長
3年 柴谷 恭佑さん

主な活動内容は他大学とキャンプを行うことです。最近では甲南大学、神戸女子大学、京都大学、大阪工業大学の学生とのキャンプに参加しました。部のいいところは、他大学の学生とキャンプを通してコミュニケーションの取り方やキャンプのスキルを学ぶこと。これからも今まで以上に他大学との交流を図りたいと思っています。部員は一見すると大人しそうですが、話すとおもしろい仲間たち。今しかない「青春」を私たちと楽しみましょう!

ひとこと

キャンプのスキル「火おこし」ができるようになる!

キャンプに積極的に参加していると、着火剤を使わず、うちわと新聞紙を使って薪に火をつけることができますようになります。

戦績・活動報告

春と夏の年2回、部の合宿があります。行きたいところがある部員が候補地をあげて、人数が集まればその行き先になるというシステムで決めています。2016年2月の「神楽春合宿」は福岡班、愛知・三重班、広島班に分かれて旅行を楽しみました。

活動内容

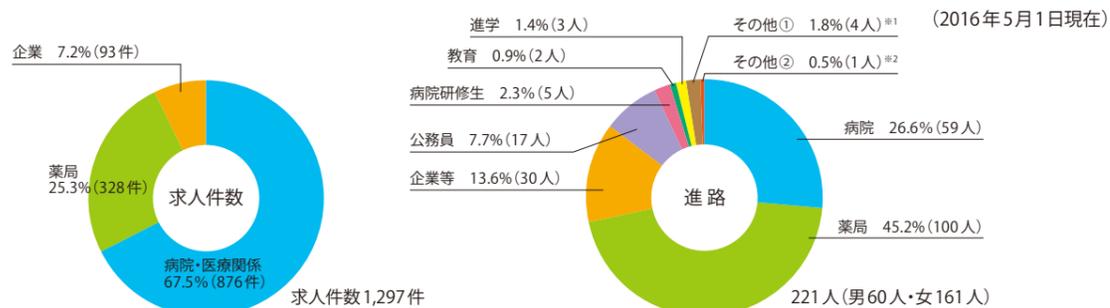
顧問 吉野 伸 教授 部員 26名

活動日:定期活動は2週間に1回、今後の活動を話し合う会議を実施。月に1回程度、他大学や自大学でキャンプを行っています。

大学生活ニュース

Careers Report

2015年度卒業生の進路状況をお知らせします



※1 就職する意思のない者・留学・自営・資格取得希望者
 ※2 就職する意思はあるが未定の者

主な就職先 (50音順)

- 【薬剤師(病院)】
 - 社会医療法人 愛仁会
 - 医療法人 啓明会 相原病院
 - 社会医療法人 明石医療センター
 - 生駒市立病院
 - 大阪府済生会泉尾病院
 - 医療法人 松藤会 入江病院
 - 医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院
 - 社会福祉法人 大阪明徳病院
 - 一般財団法人 大阪警察病院
 - 国家公務員共済組合連合会 大手前病院
 - 岡山大学病院
 - 岸和田徳洲会病院
 - JCHO 九州病院
 - 京都第二赤十字病院
 - 京都保健会 京都市民医療中央病院
 - 医療法人 協和会
 - 医療法人 錦秀会
 - JCHO 熊本総合病院
 - 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
 - 医療生活協同組合 宇部協立病院
 - 高知県・高知市病院企業団 (高知医療センター)
 - 神戸朝日病院
 - 神戸徳洲会病院
 - 一般財団法人 神戸マリアス厚生会 神戸マリアス厚生会病院
 - 独立行政法人 国立病院機構 近畿グループ
 - 独立行政法人 国立病院機構 中国四国グループ事務所
 - 済生会 滋賀県病院
 - 済生会 和歌山病院
 - 医療法人 鳳凰会 佐野病院
 - 医療法人 社団 松下会 白庭病院
 - 社会医療法人 神鋼記念会 神鋼記念病院
 - 医療法人 回生会 宝塚病院
 - 医療法人 マックシール 箕野病院
 - 社会医療法人 近森会 近森病院
 - 国立大学法人 徳島大学病院
 - 鳥取大学医学部附属病院
 - 大阪府済生会 富田林病院
 - 公立病院法人 奈良県立医科大学附属病院
 - 社会医療法人 ベガス 馬場記念病院
 - 医療法人 協和会 東住吉森本病院
 - 独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター
 - 医療法人 財団 姫路聖マリア病院
 - 兵庫医科大学病院
 - 地方独立行政法人 広島市立病院機構
 - 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
 - JCHO 福岡ゆたか中央病院
 - 三重大学医学部附属病院
 - 山口大学医学部附属病院
 - 兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤師レジデント
 - 神戸市立医療センター西市民病院 薬剤師レジデント
 - 神戸大学・神戸薬科大学 薬剤師レジデント
 - 兵庫医科大学病院 薬剤師レジデント
 - 【薬局】
 - アイセイ薬局グループ
 - 株式会社 アイソファーマシーズ
 - イオンリテール株式会社
 - ウエルシアホールディングス株式会社
 - 一般社団法人 大阪ファルマプラン
 - 有限会社 オレンジ薬局
 - 有限会社 かんまき薬局 (ABC 薬局)
 - 株式会社 キリン堂
 - クオール株式会社
 - クラフト株式会社 さくら薬局
 - 株式会社 クリエイトエス・ディー
 - 株式会社 コクミン
 - 株式会社 コカラファイン ヘルスケア
 - 株式会社 サエラ サエラ薬局
 - サンドラッググループ
 - 株式会社 祥漢堂
 - 株式会社 スギ薬局
 - 総合メディカル株式会社
 - 株式会社 大新堂 フタツカ薬局
 - たんぽぽ薬局株式会社
 - 【公務員】
 - 厚生労働省 (病薬取締官)
 - 大阪市職員
 - 熊本市職員
 - 高知県職員
 - 東京都職員 (港区)
 - 兵庫県職員
 - 和歌山県職員
 - 井原市立井原市民病院
 - 地方独立行政法人 下関市立市民病院
 - 市立川西病院
 - 市立長浜病院
 - 【企業等】
 - アルフレッサ株式会社
 - 株式会社 ツルハ
 - トライアドウエスト株式会社
 - 日本調剤株式会社
 - 株式会社 阪神調剤薬局
 - 株式会社 ファーマホールディング なの花薬局
 - ファーマライズホールディングス株式会社
 - 株式会社 マツモトキヨシ
 - 株式会社 ミズ
 - 株式会社 メディカルボックス
 - ユウ薬品株式会社
 - 協和発酵キリン株式会社
 - クインタイルズトランスナショナル・ジャパン株式会社
 - 興和株式会社
 - サイトサポート・インスティテュート株式会社
 - 株式会社 新日本科学 PPD
 - 株式会社 スズケン
 - 多木化学株式会社
 - 第一三共株式会社
 - 中外製薬株式会社
 - 東洋製薬化成株式会社
 - 東和薬品株式会社
 - ニプロファーマ株式会社
 - 日本イーライリリー株式会社
 - 日本 MSD 合同会社
 - 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
 - パレクセル・インターナショナル株式会社
 - 株式会社 ビーブランド・メディコデンタル
 - 藤本製薬株式会社
 - ブリストル・マイヤーズ株式会社
 - 株式会社 メディサイエンスプランニング
 - 株式会社 メディセオ
 - 株式会社 Medisere
 - 学校法人 医学アカデミー 薬学ゼミナール

2015年度後期 学外活動

学会や研究会などで研究成果を発表した学生を紹介します。

地域連携活動 [健康啓発] 臨床薬学研究室 地域保健予防研究チーム

私たちのチームは「いろいろな世代の方々に健康を見直すきっかけを作りたい」と日々研究活動をしています。将来、薬剤師として地域や社会に貢献したいという強い思いから、学外での対面活動を重視しており、それがより良い活動に発展していることを実感しています。主な活動は、中学生にタバコの危険性を伝える防煙(喫煙防止・受動喫煙防止)授業や働き盛りの大人に向けた情報誌の作成、高齢者への参加型勉強会など。2015年の10月には、日本薬学会近畿支部大会で研究活動を報告しました。

活動を通じて学んだことは、多様な人の目に触れるため、正しい情報を提供できるようにすること。そして対象ごとにわかりやすく伝えることの大切さです。工夫した成果は、研究室の同期から「1年前と比べてわかりやすくなり、頼もしくなっている」と言われたことで、自分たちの成長を実感することもできました。

これからは薬剤師も地域に出て活動する場面が増えていくため、学生時代に貴重な体験をさせていただいたことに感謝しています。少しでも多くの方が私たちの活動に興味を持っていただければ励みになります。



6年 吉本 佳那子さん 6年 森田 有香さん

チームの主な取組み

■ 中学生に対する「セルフメディケーション※」

中学生にはイメージしにくい「セルフメディケーション」について、実際の症例を提示しながら授業を行いました。



教壇に立つ6年 国富泰介さん

※ 普段から自分の身体の状態を把握して、軽度の症状は自分で治すこと

■ 高齢者に対する参加型勉強会

高齢者が気になる疾患についてアンケートを実施し、その結果をもとにした資料作成と勉強会を行っています。



クイズやセルフチェックなどの「参加型勉強会」を実施

2015年度後期学生の受賞・表彰



おめでとうございます

6年 葛本 杏奈さん (薬学臨床教育センター)

NTTデータ数理システム主催
2015年度 VMStudio & TMStudio
学生研究奨励賞 (佳作)

受賞タイトル
「有害事象自発報告データベースを用いた非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) 起因性小腸障害の指標の探索」



おめでとうございます

博士課程4年 伊藤 勇太さん (薬品化学講座)

日本薬学会化学系薬学部主催
第41回反応と合成の
進歩シンポジウム 優秀発表賞

受賞タイトル
「ヨウ化水素の特性を利用した共役ヒドラゾンの還元反応の開発とインドール合成への応用」



おめでとうございます

5年 橘 由香さん (薬品物理化学研究室)

日本薬学会第136年会 優秀発表賞 (ポスター)

受賞タイトル
「合成高分子を用いたディスク型脂質ナノ粒子の作製と物性評価」



おめでとうございます

博士課程4年 寶田 徹さん (衛生化学講座)

日本質量分析学会 2016年度トラベルアワード

受賞タイトル
「質量分析法を利用したエクソン認識を制御するRNA結合蛋白質解析法の構築とその応用」

第101回 薬剤師国家試験報告

2016年2月27日(土)、2月28日(日)に行われた薬剤師国家試験結果を報告します。

	受験者数	合格者数	合格率
全国	14,949名	11,488名	76.85%
本学	324名	290名	89.51%
本学新卒	221名	210名	95.02%

在生も卒業生も、薬剤師を徹底サポート

「薬剤師」を鍛える

生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

本学では、公益法人薬剤師認定制度認証機構から西日本の薬系大学では初めて「生涯研修プロバイダー」として認証(G07)されました。

医療の高度化と社会情勢の変化に伴って、薬剤師の業務は、医療チームの中での薬の専門家としての活動へと今後ますますシフトしていくものと考えられます。

これからの薬剤師はかかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師として

地域の方々の健康を支える役割を担うことになります。

このような社会的要請にこたえるために、本学ではエクステンションセンターを設立しており、

薬剤師のスキルアップのために次の研修講座を実施し、学生にも受講を促しています。



主な研修講座 ◇ 卒後研修講座 ◇ リカレントセミナー ◇ 健康食品講座 ◇ 薬剤師実践塾 ◇ シンポジウム

これらの研修会は毎回テーマを変え、スモールグループディスカッションや、高機能患者シミュレーターを用いた研修も行っています。



卒後研修講座の講義風景



高機能患者シミュレーターを用いて腸音を確認しています

学部学生は、学年に関係なく受講できますが、4年～6年次においては専門教育科目(選択科目)として単位認定もしています。現役の先輩薬剤師と一緒に各プログラムを受講することは、医療へのかかわり方等について少しでも理解を深め、将来の薬剤師像を描く良い機会になると思います。

健康ガイドブックの改訂版ができました

神戸薬科大学エクステンションセンターは、市民の皆さまへくすり、健康食品、健康にかかわる情報を積極的に発信していきたいと考えています。その一環として、この度、「健康ガイドブック」を刷新いたしました。

学内の研究室、学部学生の協力を得てとても見やすいガイドブックになりました。このガイドブックが皆さまの日々の健康づくりにご活用いただき、健康長寿へのお役に立てれば幸いです。



NOTICE

2016年度前半 主な生涯研修支援プログラム

講座名	開催日	テーマ
第9回 シンポジウム	6/12(日)	「在宅医療」研修 在宅における摂食嚥下障害と多職種連携
第74回 リカレントセミナー	6/26(日)	「健康づくり支援のための薬剤師講座」 骨粗鬆症
第35回 薬剤師実践塾	7/9(土)・7/10(日)	「在宅医療」研修 職場で役立つ3つのチカラ -観察力・会話力・問題解決力-
第16回 健康食品講座	7/24(日)	健康食品に関する最近の話題と製品情報
第75回 リカレントセミナー	9/25(日)	「健康づくり支援のための薬剤師講座」 セルフメディケーション
第76回 リカレントセミナー	10/16(日)	「健康づくり支援のための薬剤師講座」 認知症
第77回 リカレントセミナー	11/13(日)	「在宅医療」研修 中級者のためのフィジカルアセスメント -呼吸音・腸音から薬の副作用を知る-

プログラム詳細は本学「エクステンションセンター」ホームページをご確認ください

HYOUSHI TANBOU

表紙探訪

テラス(5号館)



テラスのあるフロア。奥にはおにぎりやパン、お菓子などを扱うミニショップ「KPULA」があります

神戸の街並を眺めながら 思い思いの時間を過ごす憩いの場

テラスは講義棟(4号館・11号館)に隣接する5号館の3階にあります。4号館の4階と11号館のエントランス前に通じる2つの連絡通路でつながっており、大学構内を行き来しやすいため、オープンキャンパス時は受付会場として利用されています。授業のある日は、学生が同じフロアにあるミニショップ「KPULA(クプラ)」で買ったランチを食べたり、友人とおしゃべりや勉強をしたり、サークルの集まりに利用したりしています。

南側には神戸市内を眺められるカウンター席が大きな窓に沿って設けられており、四季の風景を楽しみながら思い思いの時間を過ごすことができる、憩いの場所のひとつです。



4号館(左)とテラスのある5号館をつなぐ連絡通路



11号館のエントランスへと続く連絡通路

ボストン薬学研修報告

今回の海外薬学研修は3年次生8名、4年次生6名の計14名が参加しました。3月1日～3月12日までボストン市郊外にある昭和ボストン校に滞在して、研修に役立つ英会話のクラスを受けながら、さまざまな施設への訪問や、スピーカーをお招きして貴重な講義を聴講しました。

なかでも、マサチューセッツ薬科健康大学(MCPHS)での見学は特筆すべき内容になりました。ローテーションと呼ばれるMCPHSの実務実習に向けた注射剤の調剤や疑義照会の実習体験、無菌室などの見学のほか、初めての試みとして、本学生が英語でプレゼンテーションを行いました。内容は、本学の紹介や日本の薬学教育、薬剤師国家試験に関するものですが、薬学生のみならず、薬学以外を専攻する学生や教員など30名ほどが集まり、プレゼンテーションを聴講して、盛んに質問をしてくれました。

質問は薬学生の意識や卒業後の進路、日本の薬剤師がどのような業務に就いているかなど多岐にわたり、その後のランチミーティングでも、更に活発な意見交換が行われました。研修後半に訪問したNewton-Wellesley病院でもプレゼンテーションを行い、実務実習生や薬剤師と質疑応答を行いました。

ほかにも、製薬企業や地域薬局、マサチューセッツ総合病院の附属博物館などを見学しました。いずれも参加学生は積極的に研修に取組み、多くの学びを得ておりました。この学びは今後の学生生活や将来の進路決定において有為な刺激になることと思います。



薬学臨床教育センター
田内 義彦 教授

参加学生による海外薬学研修レポートを
本学ウェブサイトでご覧いただけます。

神戸薬科大学 ボストン



で検索してください